

明治二十九年分  
 大日記ノ編冊補遺  
 參

第一號

參 第四九九號

臨時臺灣電信建築部

沖繩丸安着ノ件

第二號

參 第六一〇號

人

沖繩丸建造費決算殘金ニ係ル件

第三號

參 第九三九號

被服裝具博覽會糧食改良審査委員長

乘馬隊ニ於テ飯盒改良博覽會審査ノ件

第四號

參 第一二〇八號

軍馬補充部

御料地貸下ノ件

第五號

參 第八七六號

威海衛台領軍司令官 馬匹及馬具支給ノ件

第六號

參 第一二二七號

近衛師團

御真影并勅諭下賜ノ件

七

參 第三二二一號

三官房簿  
三三三三三三三三  
三三三三三三三三  
三三三三三三三三  
三三三三三三三三  
三三三三三三三三  
三三三三三三三三  
三三三三三三三三

一九二一年ノ表

威海衛占領軍 歩砲兩隊経費増額ノ件

1157

海軍省

1158

第

廿九年七月廿



至急

海 底 電 信 線 布 設 船 沖 張 丸 活 功 之	受 番	領 號	件 名	聯帶局部長	聯帶課長	大臣	次官	人事課長	高級副官	參事官	主務局部長	主務課長	調査課員	主務副官	校令
	沖 張 丸 安 着 之 報 知 件	參 事 官 四 九 九 號	沖 張 丸 安 着 之 報 知 件	執行	執行	執行	執行	執行	執行	執行	執行	執行	執行	執行	執行
				廿九年七月	廿九年七月										七月二日

三十二年七月

電  
報  
局

上六日廿七日長崎港、あきしと修時亮  
 湾電信建設局長、出たる中  
 修時亮の立派の使、き揃へ  
 通電報の通し、あきしと修時亮  
 令す也

通電報料、修時亮湾電信建設  
 局、支拂、あきしと修時亮

陸軍 送甲第二〇九一號

加藤少佐の電報

沖繩丸六日廿七日長崎、あきしと修時亮  
 ニ氏ハ之通知アリ

七月二日

陸軍省 参第 四九九 號

大正 一七四 號

七月 二日

七月 二日

陸軍省 参第 七二四 號

沖繩丸 船名 義三 申付

大隅 佐賀 門司 海軍 兵隊 船名 沖繩丸

船名 義三 申付 船名 義三 申付

船名 義三 申付 船名 義三 申付

船名 義三 申付 船名 義三 申付

船名 義三 申付 船名 義三 申付

船名 義三 申付 船名 義三 申付

船名 義三 申付 船名 義三 申付

品 目

# 信守義壽大山巖殿

陸中 臺灣 燈 杉 題 詞 節

幼習志行、正學為也

海峽電氣線が設けられ沖繩に設けられた上、日本  
長崎港の船名も、長崎電氣線が設けられた  
中山の船名も、長崎電氣線が設けられた  
長崎電氣線が設けられた  
長崎電氣線が設けられた

電氣線が設けられた

沖繩に設けられた長崎電氣線が設けられた

通る

御年長  
御方長

ふる御方長  
御方長  
御方長

御方長